

群馬の歴史と文化		講義	教授 中村 光一	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの教養選択科目、スポーツトレーナーコースの教養選択科目 柔道整復師コースの教養選択科目 救急救命士コースの教養選択科目		科目ナンバリング	11220108 12220129 13220134

1. 授業のねらい・概要

本学部には、県内出身者のほか、近県、遠くは外国からの留学生も多数在籍している。そして、県外出身者はもちろんのこと、県内出身の大部分の学生にしても、本学の2つのキャンパスが置かれている群馬の地がどのような歴史を辿ってきたのか、おそらくこれまでそれほど深く意識し、学んできたことはなかったのではないだろうか。

本科目では、人生の中の貴重な4年間を過ごすことになる群馬県域（明治時代以前は大方は上野国）がどのような歴史を歩んできたのか、古代から現代まで、主に時代を下る形で講義していきたいと思う。もとより、半期という期間の中で「群馬県の歴史」を網羅的に述べることは困難であり、トピックを取り上げる形で講義を行うことをあらかじめ断っておきたい。

2. 授業の進め方

講義形式で授業を進めるが、受講生の理解を助けるため、パワーポイント等のAV機器を活用したいと思う。

3. 授業計画

1. 群馬の夜明け	9. 縁切寺満徳寺
2. 古墳時代の群馬県地域	10. 天明の浅間焼け
3. 上野三碑とその時代	11. 温泉大国群馬
4. 「三十八年戦争」と上野国	12. 群馬県の誕生
5. 『延喜式』に見る古代の上野国	13. 富岡製糸場と新町屑糸紡績所
6. 新田義貞と上野の武士	14. 工業都市太田の原点
7. 戦国時代の上野国	15. 今日の群馬
8. 中山道上州路を歩く	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前の回の講義時間の中で紹介する参考文献等を、次回の講義時間までに目を通しておくこと。この準備学修には、2時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

定期試験の際、受験者に対して出題意図・解答のポイントについて解説を行う。

6. 授業における学修の到達目標

「群馬県域の歴史と文化」について理解を深め、講義で取り上げた事項についてそれぞれ簡単な説明ができる程度の知識を有すること。

7. 成績評価の方法・基準

試験の結果（70%）、授業への取組み姿勢（30%）。講義への積極的な参加を希望する。

8. テキスト・参考文献

テキストは特に指定せず、必要に応じて講義プリントを配付することがある。その試験持ち込みは不可であるため、ノートを別に用意して講義を受講すること。参考文献は講義の中で随時紹介していくので、図書館を利用するほか、新書レベルの書籍は各自購入して読むように心がけてほしい。

9. 受講上の留意事項

授業に出ることは必要条件であって、決して十分条件ではない。また、授業では「ノートに写す」ことも必要だが「ノートを作る」ことも重要である。板書、投影したものを単に写していくだけでは、本当にその講義の内容を理解したことにはならないということに気づいてほしい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、博物館学芸員としての実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。